

あなたに薦める『この一冊』12月

『君と会えたから…』喜多川泰(著) ディスカヴァー・トゥエンティワン

英語科教諭 岡本 真司
高校 1年1組 副担任



人生について考えたい、人生で成功したい、という人向けの本ですが、涙が出るほど感動します。

地球上に住む全人類に必ず読んでほしいと思う珠玉の本です。読む楽しみを取っておくため、あらすじは、省きました。

□エピソード

前任校で高校3年生を教えていた時、大学入学共通テストを受ける前に、慶応大学に合格した生徒がいたのですが、12月にその生徒に、本を全部で3冊、『君と会えたから…』と他2冊を貸してあげました。新年になり、冬休み明けに本を返してもらい、感想を聞きました。その子が言うには、『君と会えたから…』は「本当に良い本で、感動しました。お父さんが感動して涙を流していました。それで、その本を買いました」と言ってくれました。

喜多川泰豆知識

1970年生まれ。愛媛県出身。東京学芸大学卒。……2005年から作家としての活動を開始。『賢者の書』にてデビュー。2作目となる『君と会えたから…』は100万部を超えるベストセラーとなった。……

出典：「プロフィール」喜多川 泰 - Yasushi Kitagawa Official Website
<https://tegamiya.jp/profile>



★岡本 真司(オカモト シンジ)先生の紹介★

*担当科目・クラス → 論理表現Ⅰ(高1年2~4組) / 論理表現Ⅱ(高2年1・2・3・4組)

*星座 → 牡牛座

*趣味

ギターを弾くこと、寺社巡り(御朱印集め)、たまにYoutube[わかる英語]に動画をアップすること

*自分の中学・高校生活

中学(3年間)・高校(2年間)・大学(1年間)卓球部所属

高校2年生の時(アメリカ合衆国オクラホマ州公立高校へ1年間留学)

帰国後、卓球部に戻らず、演劇部、ボランティアサークルに所属(手話等を学ぶ)

大学では、速記部、卓球部を経て最終的には部員100人を超える英会話サークルに3年間所属

*本校生の印象 → 素直な生徒が多くて、授業をするのが楽しいです。

*感動した本 → 『沈黙』 遠藤周作(著) 新潮社 / 『天平の甕』 井上靖(著) 新潮社

*読むことが望ましい本 → 下記で紹介

□本を読むのが苦手な生徒には2冊推薦します。

『ボッコちゃん』星新一(著) 新潮社

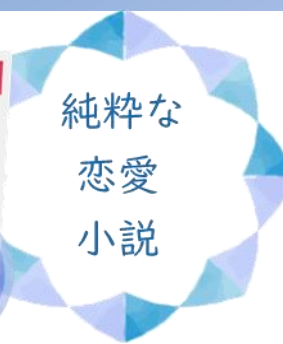
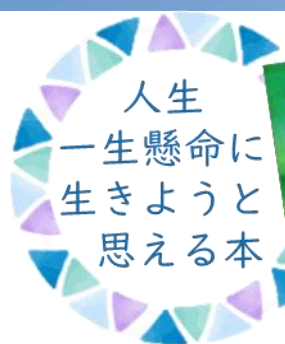
短編小説を寄せ集めた本なので、
減茶苦茶読みやすい



『グッドラック』アレックス・ロビラ(著) ポプラ社

私は、高校時代は本を読むのが苦手で、昔の旺文社の模試の現代文が偏差値40前半でした。英語は、まあまあできたにもかかわらず、担任の先生からは「行ける大学ないぞ」と言われたのを鮮明に覚えています。国語の先生に相談に行くと『ボッコちゃん』を推薦されました。理系の落ちこぼれだった私は、SFの短編小説がたくさん入った『ボッコちゃん』を毎日寝る前5分だけ読みました。内容が面白い、英語でいう“interesting”だったので毎日楽しく読めました。すると模試の現代文の偏差値が上がり始めました。自分でも認識できたのは、毎日5分本を読むだけで、読むスピードが速くなり、理解力も上がりました。そのうえ、古文単語を覚えるだけで、古文もなんとなくわかるようになり、何とか大学に入ることができました。毎日継続して読むことで国語力が上がるのを身をもって体験しました。だから、現代文の偏差値が特に低い生徒には、毎日5分でいいので、星新一のシリーズを読むことをお勧めします。少し読む理解力がついてきたら『Good Luck』も読んでください。やる気が出る本です。

読書が苦手な人でも読みやすい世界的ベストセラー



編集後記：1冊目の作者喜多川泰には、クリスマスの奇跡を描いた「株式会社タイムカプセル社」という著書もあります。季節に合わせた本を読むのも、雰囲気が出てとっても楽しいですよ！ 図書館では「次に読む本」のご相談も受け付けていますので、お気軽に声をかけてください。